全教科書対応／中1・2学期までの総点検

冬休み明けリセット診断（中1）

Class_____ No._____ Name_____

■ **点数をつけるテストではありません**　2学期までの**どこが薄いか**を見つける15分の健康診断です。（未習は飛ばしてOK）
やり方　①解く → ②裏面で答え合わせ → ③「できた数」を裏の**診断マップ**へ → ④薄いブロックだけ1週間で戻す。

A　三単現の s　主語が he・she のときの形を書こう。

① play		② like		③ go	
④ watch		⑤ study		⑥ have	

B　三単現の文　場面に合う文にしよう。(1)(2)は正しいほうを○、(3)は1語書く。

(1) 友だちを紹介する「アヤはテニスをします」	Aya（ play ／ plays ）tennis.
(2) 給食の話「ケンは納豆を食べません」	Ken（ don't ／ doesn't ）eat natto.
(3) ALT の先生のことをたずねる「ブラウン先生は日本語を話しますか」	（　　）Ms. Brown speak Japanese?

C　たずねる文　（　）に who・whose・which・when から1語入れよう。

(1) 落とし物を見せて「これはだれのペンですか」	（　　）pen is this?
(2) 2つのケーキを見せて「どちらがほしいですか」	（　　）do you want?
(3) 新しい友だちに「誕生日はいつですか」	（　　）is your birthday?

D　be動詞と一般動詞の切りかえ　正しいほうを○でかこもう。

(1) 写真を見せてもらって「エミは中学生ですか」	（ Is ／ Does ）Emi a junior high school student?
(2) 部活の話「ユウタは毎日走りますか」	（ Is ／ Does ）Yuta run every day?
(3) クラス分けの話「あなたとケンは同じクラスですか」	（ Are ／ Do ）you and Ken in the same class?

E　できること・お願い　(1)は1語書く。(2)(3)は正しいほうを○。

(1) バンドにさそう「あなたはギターをひけますか」	（　　）you play the guitar?
(2) 図書館で「ここで食べないでください」	（ Don't ／ Not ）eat here, please.
(3) 動物クイズ「ペンギンは飛べません」	Penguins（ can't ／ aren't ）fly.

F　自分の番　だれか1人（友だち・先生・好きな有名人など）を紹介する2文。

① だれか	This is
② その人がすること	He / She

☆豆ポイント！休みのあいだに消えたのではなく、**使わなかっただけ**。声に出して使えば、戻ってきます。

全教科書対応／中1・2学期までの総点検

冬休み明けリセット診断（中1）【解答・かんたん解説】

丸つけをしたら、ブロックごとの「できた数」を下の診断マップに書こう

A〜C　三単現の s／三単現の文／たずねる文

A	① plays　② likes　③ goes　④ watches　⑤ studies　⑥ has
B	(1) plays　(2) doesn't　(3) Does
C	(1) Whose　(2) Which　(3) When

Aは go・watch に es、study は y を i にかえて es、have は has。B(2)(3)は doesn't・Does のあとの動詞に s をつけません（eat・speak のまま）。(3)は「話しますか」なので Does（Can は「話せますか」）。C(1)の Whose は Who's（＝Who is）と音が同じでも別のことば。文の始めは大文字で書きます。

D〜F　be動詞と一般動詞の切りかえ／できること・お願い／自分の番

D	(1) Is　(2) Does　(3) Are
E	(1) Can　(2) Don't　(3) can't
F	例：① This is my friend, Aya.　② She plays tennis every day.

Dは、一般動詞（run・play など）があれば Does・Do、なければ Is・Are。(3)は主語が you and Ken（2人）なので Are。E(1)は「ひけますか」なので Can。(3)は be動詞と動詞を並べない（aren't fly ×）。 Fの自己チェック：② He・She のあとの動詞に s がついているか（can のあとは s なし）。

診断　診断マップ　できた数を書いて、いちばん薄いブロックから戻そう。

ブロック（できた数）	薄いまま2年生になると	この1週間の一手
A 三単現の s　／6	**人のことを話す文が、ずっと s ぬけになる**	動詞の形を1日6語、声に出す（plays・goes・studies・has）（最優先）
B 三単現の文　／3	否定と疑問で、do と does がまざる	「三単現の定着ドリル」を1枚
C たずねる文　／3	「だれの」「どちら」「いつ」を聞けない	「疑問詞の定着ドリル」を1枚
D 切りかえ　／3	Is と Does、Are と Do を取りちがえる	「be動詞と一般動詞の定着ドリル」を1枚（Does の文は三単現のドリルで）
E できること・お願い　／3	できること・してほしいことが言えない	「can の文の定着ドリル」を1枚（命令文は命令文のドリルで）
F 自分の番　／2	人を紹介する文が書けない	「なぞの人物はだれ？」の紹介文を書く

★ Aが薄い人は、ほかより先にA。全部を戻す時間はありません。1週間に1ブロックで十分です。

■ ×が2つ以上ついたブロックがある人へ（学び直しコース）
① そのブロックの問題文を声に出して読む → ② 解答を赤で写す → ③ 答えを見ずにもう一度そのブロックだけ解く → ④ 先生に見せてチェックをもらう。
1回10分で十分です。**全部やり直す必要はありません**—薄いところだけで戻ります。

学校・授業での利用は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）